



中部大学春日丘高校 SGH課題研究「世界の現状を知り考える学習」(8時限/5回)

-「教えられる」のではなく、自ら発見する力を養い、「気づき」を「行動」へとつなぐ-

第5回 国際協力と社会貢献～グローバル・イシューとグローバル・シチズン～

開催概要

- ◆ 日 時: 2016 年 5 月 7 日 (土) 3・4 時限[10:50~12:40]
- ◆ 場 所: 中部大学春日丘高校 物理室(A)、生物室(B)、化学室(C)
- ◆ 参加者: 啓明コース及び国際コース1年生 143 人(A…47 人、B…48 人、C…49 人)
- ◆ ファシリテーター: (特活)NIED・国際理解教育センター 伊沢令子さん(A)、平野木恵さん(C)、中部大学春日丘高校 SGH 海外交流アドバイザー 長野智帆さん(B)
- ◆ 第5回学習のねらい:

- ① 国際協力とは何か、社会貢献とは何か、その意味を知り、意義を考える。
- ② 日本が行う多様な国際協力や日本の中で取り組まれている社会貢献活動についての情報を得る。
- ③ グローバル・シチズン(地球市民)として、これから自分はどう社会や世界に関わるのかを考える。

学習の流れと成果

※[]内は平均所要時間、「F」はファシリテーターの意。

1. 国際協力や社会貢献って何だろう? [25 分]

- ① ここまでのふりかえり、第 5 回のねらいの説明…Fが、ここまでの全体の流れや成果、今回のねらいについて説明した。各自「こうみて私は〇〇です」を考え、グループで紹介しあった(A)。
- ② 国際協力や社会貢献って何…国際協力や社会貢献について「知っていること/知りたいこと」を、グループで出し合い A3 用紙に対比表形式で書き出した。その内容を、全体で発表・共有した(B)。A3 用紙を回し読みして共感したものには☆印をつけた(A・C)。全体で出してみた感想を共有した(C)。


【成果】:国際協力や社会貢献について知っていること

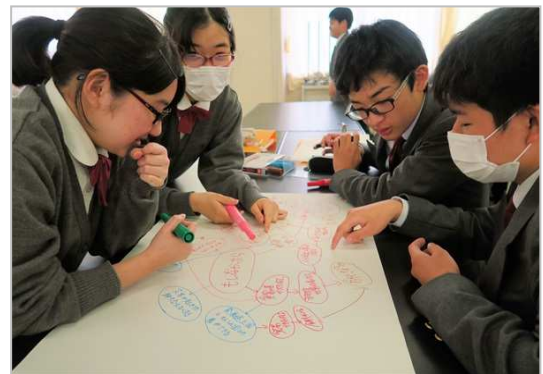
◇ボランティア	◇世界遺産	◇古本を海外に送る	◇学校をつくる	◇リサイクル(3R)
◇募金活動	◇UNHCR	◇COP10	◇要らないものを海外で安い金で売る	◇姉妹校提携
◇NGO、NPO	◇難民の保護	◇環境問題対策	◇サミット	◇FFA
◇国境なき医師団	◇フェアトレード	◇物資支援、調達	◇EU、ASEAN	◇オリンピック
◇JICA、ODA	◇献血	◇被災地への援助	◇テロ対策	◇日本企業海外進出
◇青年海外協力隊	◇赤十字	◇本田圭佑の寄付金	◇貿易	◇訪問医療
◇シニア海外ボラ	◇赤い羽根募金	◇ユニクロ	◇TPP	◇点字ブロック
◇国連、WHO	◇奨学金	◇ワクチン	◇国際分業	◇奨学金
◇ユニセフ、ユネスコ	◇エコキャップ回収	◇自衛隊PKO		

【成果】:国際協力や社会貢献について知りたいこと

- ◇NGO・NPOの派遣先、活動内容
- ◇ボランティアの活動内容、見つけ方
- ◇国際協力とは？ 世界で必要とされていること、協力方法
- ◇国際協力は何か始める？ 期間、人数など
- ◇身近な社会貢献、主な機関
- ◇日本がしている海外支援(国、金額、内容)
- ◇青年海外協力隊の活動内容、隊員の要件
- ◇他国の援助、協力内容
- ◇日本が災害時に受けた支援内容
- ◇募金の行方、活用方法
- ◇他国でも募金をするか
- ◇今の世界の現状、医療の現状
- ◇貧富の差が生まれた原因
- ◇発展途上国はなぜ発展途上国なのか
- ◇ワイロのこと
- ◇世界と日本の関係
- ◇TPPで話し合っている内容、関税
- ◇EU、サミットのこと
- ◇日本の借金の返し方
- ◇「知っていること」の詳細
- ◇フェアトレードの詳細
- ◇外来生物法、COP10、ワクチン、CO₂のこと
- ◇ユニセフ、WHO、PKO、JICAのこと
- ◇何ができるか分からない(知りたい)
- ◇国連に入る方法

2. 国際協力や社会貢献の意義 [20分]

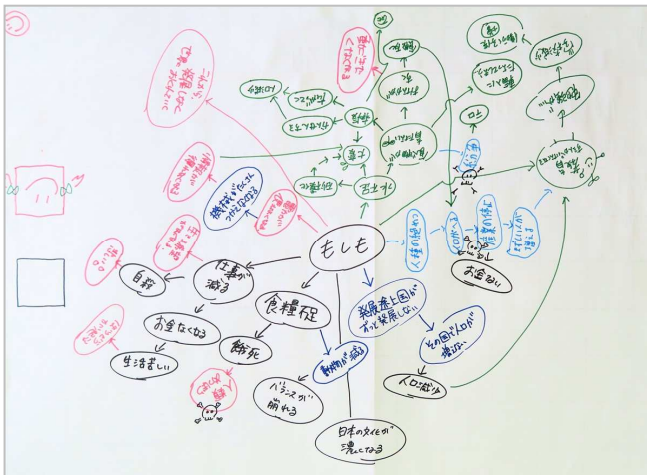
- ① 国際協力や社会貢献がなかったら？…国際協力や社会貢献の意義を考えるために逆説的に、もしも国際協力や社会貢献がなかったらどんな影響があるかを想像し、グループで派生的に考え模造紙に書き出した。最もなくなったら困ると思う影響にドクロマークを付けた(A)。
- ② 全体で発表・共有…全体でドクロマークを発表した(A)。模造紙を回し読みで共有し、共感したのものには☆印をつけた(A・C)。全体で感想を共有した(C)。



【発表例】:最もなくなったら困ると思う影響(ドクロマーク)

- ◇食糧不足
- ◇科学技術の低下
- ◇世界の混乱
- ◇国が発展しなくなる
- ◇戦争や紛争が起こる
- ◇地球温暖化が加速する
- ◇児童労働が増える
- ◇不衛生が持続する
- ◇人口が減る
- ◇生活が困難な人が出る
- ◇病気で死ぬ人が増える
- ◇楽しみが減り、うつ病が増える
- ◇無職の人が増える
- ◇国際関係の悪化
- ◇一人の人間としての行き場を失う
- ◇人が死に死亡率が高くなる
- ◇人類滅亡

【模造紙例】:もしも国際協力や社会貢献がなかったら？



■ 4. 国際協力の実施主体と仕事 [15分]

- ① 国際協力の実施主体の確認…各自、資料 5-1「国際貢献の3つの主体」を読み、内容の理解に努めた。
- ② 国際協力に関する仕事適性チャート…資料 5-2「国際協力という仕事あなたはどのタイプ？」のチャートで自分のタイプを決定し、裏面のタイプ別に適した国際協力の仕事の内容を確認した。どのタイプが多いか全体で挙手により確認した(A)。
→【結果】 A 国際派:3人、B 日本代表:0人、C プロ:11人、D 理想追求:7人、E 頭脳で貢献:13人、F 企業市民:7人



■ 5. わたしはこれから、他者、社会、世界とどう関わって生きるのか？ [25分]

- ① 2つのタイムラインの作成…各自、A3用紙を横長に使い、左の横棒上には、自分に影響を与えた過去の出来事を、右の上向きラインには、「こうなりたいプラスの未来(20年先の自分や社会の姿)」、右の下向きラインには「こうなってしまうかもしれないマイナスの未来」についてキーワードやポイントを書いた。
- ② プラスの未来のために必要なものと入手方法…各自、A4用紙を横長に使い、左側には、「こうなりたいプラスの未来」を実現するために「自分に必要なもの」を、右側には「具体的手立て」考え対比表形式に書き出した。



【記述例】:「こうなりたいプラスの未来」を実現するために「自分に必要なもの」と「具体的手立て」

自分に必要なもの		具体的手立て	
◇多言語を話せるようになる	◇世界の人と関わり、学ぶ	◇リスニングを多くする	◇勉強、サボらない
◇自分を主張し発表する力	◇世界の現状を知る	◇積極的に対話する	◇集中して取り組む
◇コミュニケーション能力	◇グローバル・イシューに向き合	◇他の意見に耳を傾ける	◇多様な国について知る
◇他者を尊重し行動する力	い、平和を語る	◇違う意見でも否定しない	◇いろいろ調べ体験する
◇目標を持つ	◇広い視野、状況を見る目	◇多くの人に話しかける	◇本を読む
◇政治に興味を持つ	◇お金、高学歴	◇外国人と交流を持つ	◇自分の目で確かめる
◇情報を手に入れ、どれが正しいか判断する力	◇積極性、質問力	◇目を向けるべきことを自分で見つける	◇力で片付けようしない
◇一つのことを深く考える力	◇創造力、予測能力、実行力	◇ニュースを見る	◇人間性を磨く
	◇人脈、家族・友達の協力		◇周りの目を気にしない

■ 6. 全体ふりかえり [10分]

感想の共有…全体で感想を共有した(A)。

- ・今まで考えてなかったプラス面、マイナス面を今後どう選択していくかが大切だと思った。
- ・中学校までは自分で考える授業はなく新鮮だった。世界を知るだけでなく自分のことを深く考えることができた。
- ・5回を通じて、グローバル化は身近にあることに気づいた。自分にとってプラスになる体験だった。